

## 第6学年「理科」学習指導案

授業者 草野 健

2月16日（金）3階実験観察室 9：00～9：40（話し合い11：00～11：45）

### 1 単元名 生物と環境

### 2 単元について

6年「生物と環境」の単元は、これまで理科の学習で学んできたことを使いながら、子どもが自然環境について今一度考えていく単元である。これまで理科や他教科、てつがく創造活動で学んできた知識や話し合いの経験、様々な技能を発揮しながら自然環境について新たな知識や考え方を得たり、これまでの学習や生活を見直したりする単元であるとする。

子どもたちは低学年時からこれまで、みがくや理科の学習でたびたび小学校内や大学構内の生き物観察に取り組んできた。6年時では、小学校内の池に生息する小さな生き物を観察した。てつがく創造活動でのプロジェクト活動で、校内の生き物について取り組んだ子どもがいた。このような子どもたちが小学校での最後に学校の周りの生物や環境に今一度目を向ける機会としてこの単元を設定することを考えた。ただ振り返るのではなく、特に重視したいのは「生物同士のつながり」である。

そこで、今回はボードゲームをしながら生物同士のつながりを意識させることを考えた。使用するボードゲームは、東京都市大学環境学部の佐々木・北村が開発した「EcoPyr—エコピラ—」である。これは、様々な生き物同士がつながっていることを理解することに焦点を当て、生き物の捕食被食関係を表現しているボードゲームである。これを使いながら、お茶の水版エコピラを作るためにはどんな生物がふさわしいかなどを考えていくようにしたい。特に「ヒト・モノ・コト」をつなぐ視点2にあるコトとモノをつなぐことを意識して子どもたちの学びを支えていきたいと考える。

### 3 学習指導計画（5時間目／全10時間）

- |               |             |
|---------------|-------------|
| 第1次 生物と水・空気   | …2時間        |
| 第2次 生物同士のつながり | …6時間（本時3／6） |
| 第3次 地球環境を守る   | …2時間        |

### 4 本時の学習について

#### （1）本時のねらい

- ・お茶の水版エコピラを作るためには、どのようなところを改良したらよいか話し合い、自分の意見をノートに書くことができる。

#### （2）予想される本時の展開

主な学習活動と子どもの姿	留意点
1 今日の学習について確認をする。	・前時までの活動を想起しながら、本時の学習について確認する。 ・アイデアを研究所で共有できるようにする。 ・アイデアを見ながら、自分の意見をノートに書けるようにする。
2 お茶の水版エコピラを作るためのアイデアを話し合う。	
3 話し合ったことを共有しながら自分の意見をノートに書く。	

#### □授業後の話し合いで話題にしたいこと

理科の学習にゲームを取り入れることの可能性について。